

平成17年4月25日

各位

会社名 東京急行電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 上條 清文
(コード番号 9005 東証第1部)
問合せ先 財務戦略室 主計部
IR担当課長 柏崎 和義
(TEL 03-3477-6168)

販売用不動産評価損、子会社株式評価損の計上
および個別業績予想の修正に関するお知らせ

1. 販売用不動産評価損について

当社および当社の連結子会社でありますTCプロパティーズ株式会社は、平成17年3月期において、販売用不動産のうち決算日の実質価額が帳簿価額に比べて50%以上下落している土地につきまして、評価損を計上いたします。

(1) 当社

(A) 販売用不動産評価損	2,443百万円
(B) 平成16年3月期の純資産の額(A/B×100)	222,955百万円 (1.1%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均(A/C×100)	24,550百万円 (10.0%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均(A/D×100)	5,581百万円 (43.8%)

平成16年3月期の当期純利益の額が10億円未満であるため、最近5事業年度の経常利益および当期純利益の平均を使用しております。

(2) TCプロパティーズ株式会社

(A) 販売用不動産評価損	3,165百万円
(B) 平成16年3月期の連結純資産の額(A/B×100)	160,962百万円 (2.0%)
(C) 最近5事業年度の連結経常利益の平均(A/C×100)	35,609百万円 (8.9%)
(D) 最近5事業年度の連結当期純利益の平均(A/D×100)	3,414百万円 (92.7%)

平成16年3月期の連結当期純利益の額が10億円未満であるため、最近5事業年度の連結経常利益および連結当期純利益の平均を使用しております。

当社は、平成17年3月連結決算において、上記の販売用不動産評価損を特別損失に計上する予定です。

2. 子会社株式評価損について

当社の連結子会社でありますTCプロパティーズ株式会社および網走交通株式会社の株式につきまして、平成17年3月期において評価損を計上いたします。なお、下記金額には、平成16年9月中間決算におけるTCプロパティーズ株式会社の株式評価損281億円を含んでおります。

(A) 子会社株式評価損	35,018百万円
うち TCプロパティーズ株式会社	32,857百万円
網走交通株式会社	2,161百万円
(B) 平成16年3月期の純資産の額 (A / B × 100)	222,955百万円 (15.7%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均 (A / C × 100)	24,550百万円 (142.6%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均 (A / D × 100)	5,581百万円 (627.5%)

平成16年3月期の当期純利益の額が10億円未満であるため、最近5事業年度の経常利益および当期純利益の平均を使用しております。

3. 個別業績予想の修正について

(1) 平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の個別業績予想については、下表の通り、平成16年11月15日公表の業績予想を修正いたします。

平成17年3月期個別業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	244,700	41,800	17,500
今回修正予想(B)	248,200	46,100	23,400
増減額(B-A)	3,500	4,300	5,900
増減率(%)	1.4	10.3	33.7
(ご参考) 前期実績 (平成16年3月期)	240,208	25,267	63,106

(2) 上記修正の理由は以下のとおりであります。

平成17年3月期は売上高2,447億円、経常利益418億円、当期純利益175億円を予想しておりましたが、不動産販売事業において建売住宅および戸建用地の分譲が計画を上回り増収増益となり、売上高は35億円増収の2,482億円、営業利益は38億円増益の573億円、経常利益は43億円増益の461億円、当期純利益は固定資産売却益等の増加により59億円増益の234億円となる見込みであります。

なお、平成17年3月期の連結業績につきましては現在集計中ですが、平成17年2月15日公表の連結業績予想と大きな変動はない見込みであります。

以 上